

# 大玉の透き通る爽やかさ！「文旦」<sup>ぶんたん</sup>



## 1. 果実の出荷時期と特長

出荷時期	2月中旬から4月下旬まで
特長	みずみずしく透き通る爽やかな風味があります。
備考	文旦 <sup>ぶんたん</sup> には、「土佐文旦 <sup>とさぶんたん</sup> 」のほか、施設内で栽培される果汁の多い「水晶文旦 <sup>すいしょうぶんたん</sup> 」などの品種があります。愛媛産の「土佐文旦」は、「宇和文旦 <sup>うわぶんたん</sup> 」という商品名で販売されるものもあります。愛媛県は、高知県、鹿児島県に次ぐ文旦の産地です（平成20年産）。

## 2. 果実の食べやすさ

果皮	1：手で簡単にむけます。 2：手でむけますが、ややむきにくいこともあります。 ③：手でむくのが大変です。ナイフなどをご利用下さい。
袋	1：薄く、食べてもほとんど気になりません。 2：やや薄く、袋ごと食べることができます。 ③：厚く、口に残ります。袋をむいてお召し上がり下さい。
種	1：ありません（まれに少量あることもあります）。 ②：あります。

## 3. 来歴

- (1) 「土佐文旦」は、鹿児島県在来の品種で、1929年に高知県農事試験場園芸部長の渡辺恒男氏が鹿児島県から導入したといわれています。
- (2) 「水晶文旦」は、1952年頃に高知県室戸市の民間育種家の戸梶清氏によって育成された品種です（戸梶清氏の手記によれば、ポンカンの成木に土佐文旦の胚芽接ぎをして生まれたものとありますが、土佐文旦と何かの雑種という説もあり、はっきりしていません）。